

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2021.2.10 No.399

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp



杉並区議会第一回定例会開会 党区議団を代表して代表質問

杉並区もPCR検査「社会的検査」実施へ

2月9日から杉並区議会第一回定例会が開会し、2月10日には、区長の予算編成方針に対して会派を代表して、代表質問に立ちました。

杉並区も消極姿勢を転換 党区議団の要請が実現



党区議団を代表し代表質問。

新型コロナウイルスの感染が拡大し、市中感染が広がっている現状では、ハイリスクの人を感染から守る「社会的検査」に大きな力を注ぐ必要があります。

一方、これまで杉並区は、医療機関や福祉施設等の特定の業種の人への定期的なPCR検査の実施は「費用対効果が低い」「検査体制の圧迫」等を理由に「現状においては行なう予定はない」旨の答弁を繰り返してきました。

しかし、本来であれば「検査体制が逼迫しているから検査を絞る」のではなく、「検査・保護・追跡」の基本を徹底する体制を構築する努力こそすべきです。23区においても、江戸川区、墨田区、世田谷区などで「社会的検査」を拡充する取り組みが始まっており、国も高齢者施設の従事者等への集中検査を実施する必要性を示しています。

代表質問では、他自治体の取り組みも紹介し、PCR検査「社会的検査」の拡充を求めました。答弁に立った区長は、これまでの消極姿勢を一部転換し、高齢者施設等の従事者へのPCR検査を実施する方針を示しました。

第8期介護保険料額は値上げせず、据え置きへ

第8期((R3-5年度)の介護保険料額について、コロナ禍であることを踏まえ、引き上げを中止するよう求めました。区は基金を取り崩し、第7期の保険料額に据え置く方針を示しました。保険料額の引き上げを行なわなかったことは重要です。

第7期事業計画

第7期基準月額 (調整前) 6,579円	給付費準備基金の活用 (△379円) 第7期基準月額 6,200円
----------------------------	--

第8期事業計画

第8期基礎月額 (調整前) 6,594円	給付費準備基金の活用 (△394円) 第8期基準月額 6,200円
----------------------------	--

この間、日本共産党は国政においても、PCR検査の抜本的拡充を求めてきました。党杉並区議団も一貫して社会的検査の実施を求め続けてきました。が、ついに実現することになります。

国保料の値上げ中止を

国民健康保険は、低所得者が多く加入しているにも関わらず、国保料負担が極めて重くなっています。コロナ禍で収入激減が起きているもとで、国保料負担の重さに区民から悲鳴の声が上がっています。代表質問では、来年度の国保料の値上げを抑え、軽減に踏み出すため、あらゆる手立てを尽くすよう求めました。

区長は、特別区長会において、来年度の保険料値上げを抑制するよう発言しており、答弁では「コロナ禍の影響を考慮した保険料とすることが必要」との認識を示しました。

不要不急の道路整備を中止し税金の使途の転換を

第52回 杉並区区民意向調査にも 補助132号中止の意見相次ぐ

第52回 杉並区区民意向調査 区政に関する意識と実態 (要約版)

【調査のあらまし】

- ・調査対象 満18歳以上の区民
- ・対象者 無作為抽出による3,000人
- ・調査方法 郵送配布・郵送回収法
- ・回収数(回収率) 1,570人 (52.3%)
- ・調査時期 令和2年7月

杉並区が行なった第52回杉並区区民意向調査の「自由意見」には、補助132号線に関し、計画の中止を求める意見が11件寄せられました。無作為抽出アンケートで、多くの意見が寄せられることは特徴的です。

■区民意向調査に寄せられた意見(抜粋)

- ・西荻北の道路は広げないで下さい。
- ・西荻の道路拡張は再考してほしいです。
- ・西荻駅前の道路拡張計画は反対です。
- ・西荻窪の道路拡張計画について、半世紀以前の計画を今進めるのは合理的でなく、景観も損ねるため、中止してほしい。都の財政がコロナで厳しい中、進める理由はないと思う。せっかくの西荻窪らしさが失われてしまうと思う。
- ・道路拡張工事反対です。
- ・西荻窪地域の駅前周辺再開発や大きな道路建設には反対です。商店街や小さい飲食店街は壊さないでほしい。
- ・西荻窪好きで住み続けたいで今の文化をなくさずにいてほしい。
- ・西荻窪駅周辺の開発をやめてほしい。防災上、道路拡張は必要なのかもしれないが、開発で従来の街並が壊されていくことに辟易しています。

代表質問の録画映像は杉並区議会ホームページでご覧になれます。

来年度予算編成について、新型コロナウイルスの影響により大幅な減収となる見通しが示されました。コロナ禍であることを踏まえ、税金の使い方の大転換が必要です。

代表質問では、来年度予算は、新型コロナウイルス対策と区民の福祉、暮らしの充実、命と健康を守るために振り向けることを求め、住民合意無く進められている都市計画道路整備等は中止し、税金の使途を正すよう求めました。

区は、コロナ禍でも「計画事業は待ったなし」「必要な財源を投入する」等と答弁し、都市計画道路整備に固執する姿勢を示しました。

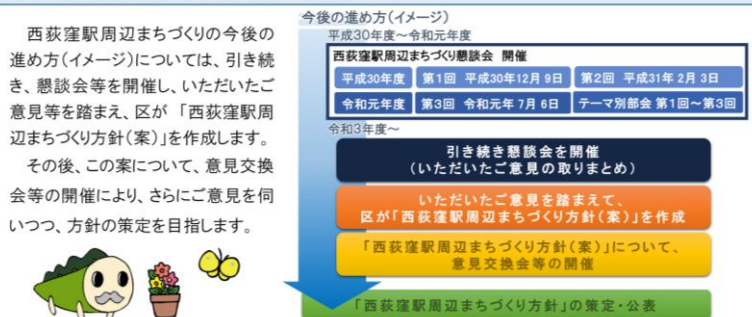
西荻窪の道路拡幅となる補助132号線は、総事業費が250億円を超える見通しも示されており、コロナ禍のもとで税金の使途が厳しく問われます。

コロナ禍による
道路整備には莫大な税金投入…

西荻窪駅南側再開発に向けて 駅周辺まちづくり方針の策定へ

田中区長は、来年度予算編成方針のなかで、西荻窪駅周辺のまちづくりに触れ、「関係団体へのヒアリングを実施する」と示しました。また、代表質問に対し「まちの将来像を描く、まちづくり方針策定へ向けた取り組みを進める」と答弁しており、西荻窪駅南側再開発も含めた動きが活発化しています。

Q2 今後どのように進めるのでしょうか？



西荻窪駅周辺まちづくりだより【No.3】(令和3年2月発行)

今週の1コマ

初めての全身じんましん… (泣)

代表質問の準備が過酷を極めていたところ、なんと、全身にじんましんが発生…。初めての経験です。流石に無理が祟ったか、団長の指示で直ちに皮膚科へ。症状が酷かったため、静脈注射を打ち、なんとか復活しました。